

ゼロカーボンシティ宣言について

本市では、地球温暖化に向き合う姿勢を示すため、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を11月25日の記者会見で宣言しました。

背景

近年、世界各地で地球温暖化が一因とみられる猛暑や集中豪雨等の異常気象による災害が多く発生しております。2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、「気温上昇を2℃よりリスクが低い、1.5℃に抑えるため、2050年までにCO₂の実質排出量をゼロにすることが必要」とされ、地球温暖化問題は世界規模での対応が求められている喫緊の課題です。

ゼロカーボンシティとは

環境省では、「2050年に温室効果ガス又は二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指す旨を公表した自治体」を「ゼロカーボンシティ」としています。

取組内容

地球温暖化問題は喫緊の課題であると認識し、市民・事業者との協働により地球温暖化対策を次のとおり進めてまいります。

- ①脱炭素社会に向けて、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用を推進します。
- ②経済と環境の好循環をつくり出し、地域の成長とともに豊かな自然環境の保全を図ります。
- ③リデュース、リユース、リサイクルの3Rを推進し、循環型社会の構築を目指します。

※ 現在実施している省エネルギーや再生可能エネルギーの利用をさらに推進するなど、市民・事業者との協働により地球温暖化対策を進めるとともに、今後、「成田市環境基本計画」を見直しするなかで、新たな施策・取組を検討します。



JR成田駅西口のデッキ



市役所前の広告塔



市役所前のロータリー